

看護教育 第19巻 総目次

1978年1-13号

(分類は第13巻 第5号‘特集・文献集録’に準じ、表示は題名：筆者名、号数、ページ数を表す)

教育原論に関するもの

メモランダム 体(からだ)を通して学ぶことからの
出発：小野殖子，4，219-222.

看護教育原論に関するもの

いま教育現場では・9 基礎教育について：大田千
恵子，1，53-55.

教育学の立場から 人間看護のための基礎教育：
鈴木俊作，1，55-57.

いま教育現場では・10 田園の中の学校にあって：
伊藤幸子，2，120-122.

教育学の立場から 助産婦・伊藤あき子の生活史
を借りて：鈴木俊作，2，122-125.

私の病棟日誌・9 隔たりの上の医療：日下隼人，
2，126-128.

いま教育現場では・12 座談会 共同執筆を終えて：
伊藤幸子・ほか，4，233-242.

私の発言 これからの医療にこたえる教育体制：矢
谷令子，5，265-271.

講演 看護教育における臨床実習について：小野殖
子，5，272-284.

教育，特に医療教育への小児的思考 序文にかえて：
森 日出男，12，722-726.

カリキュラム論に関するもの

看護研修学校同窓会第3回研究セミナー報告 看護
教育におけるカリキュラムの概念的枠組み・1(講
演・看護教育カリキュラムにおける概念的枠組み
の位置づけ／小島操子，講演・看護教育カリキュ
ラムにおける概念的枠組み／Lourie Glass, 文献・
看護学部教育課程における今日の概念の枠組み／
Gertrude Torres, Helen Yura)：セミナー準備
委員会，11，661-678.

准看護学校・高校衛生看護科に関するもの

私の発言 高校職業教育課程改革と衛生看護科教育：
桜井慶一，2，65-69.

観察・看護計画の指導の一工夫 高等学校衛生看護
科の段階において：正村啓子，5，295-303.

高等学校衛生看護科卒業生の追跡調査：丸岡隆二，
8，500-507.

短大・高等看護学校に関するもの

短大看護科学生入学時の‘つもり’：大河原千鶴子・
ほか，1，30-35.

いま教育現場では・10 田園の中の学校にあって：
伊藤幸子，2，120-122.

教育学の立場から 助産婦・伊藤あき子の生活史
を借りて：鈴木俊作，2，122-125.

いま教育現場では・12 座談会 共同執筆を終えて：
伊藤幸子・ほか，4，233-242.

在る姿と在りたい姿の葛藤のなかで 厚生病院付属
高等看護学院の看護教育の実際：阿保順子，11，
689-702.

看護大学に関するもの

座談会 聖路加看護大学における編入制度の導入と
現状 学士編入課程に学んで：高橋シュン・ほか：
7，399-411.

助産婦教育に関するもの

助産婦教育における今後の問題点：新道幸恵・ほか：
7，417-420.

基礎科目・教養に関するもの

特別論稿 思想の生命：市倉宏祐，1，13-29.

いま教育現場では・9 基礎教育について 教育学

の立場から 人間看護のための基礎教育：鈴木俊作，1，55-57.

論評 身体が思考する “身体——東洋的身心論の試み”を読んで：湧井由美子，4，243-246.

論評 日常的現実の維持と変革 “日常世界の構成”ノート：湧井由美子，5，324-328.

専門科目に関するもの

看護と法律 看護業務と医療過誤 その2：渋谷美春，2，86-92.

海外研究論文抄読 看護理論と看護研究の間の相互作用：J. Q. Benoliel，平井チヨキ・ほか訳，2，93-100.

看護婦教育課程における学生の研究指導の実際：鈴木正子・ほか，3，132-137.

母性・小児看護学演習を試みて：山本富士江・ほか，3，150-154.

行動目標の設定 排泄の援助：都留綾子・ほか，4，223-227.

研究のまとめ方と発表の仕方 その1：品川信良，5，285-294.

観察・看護計画の指導の工夫 高等学校衛生看護科の段階において：正村啓子，5，295-303.

呼吸器疾患および看護の講義におけるケース・スタディの導入：岡安大仁・ほか，6，351-354.

看護生理学実験 成長段階における保温を考えるための基礎実験：伊藤明子・ほか，7，421-425.

“科学的看護論”より講義・実習への展開：大澤浜子・ほか，8，467-478.

授業展開の一考察：鎌田ミツ子，8，479-486.

臨床実習におけるネフローゼ症候群患者の看護の到達目標：関東地区国立大学医学部付属看護学校教官連絡協議会合同研究，8，487-491.

奈良県立医科大学付属病院看護婦業務の分析 直接看護時間・間接看護時間・平均看護時間などを中心に：梁瀬度子・ほか，8，492-499.

看護業務の技術的評価について・その1：池上直己，9，527-531.

教育の方法としての看護研究：鈴木正子・ほか，9，532-535.

母性における看護過程の展開方法の一例：文部省第36回看護婦学校看護教員講習会“看護学総論”グループワーク，9，543-548.

小児看護学における概論・保健の教授学習計画の一例：関東地区国立大学医学部付属看護学校教官連絡協議会合同研究，9，549-553.

看護実習“吸引”における持続吸引装置の教育器材として工夫とその教育効果について：三原 勉・ほか，9，554-558.

看護教育における“精神科看護”の役割：野田正彰，9，559-569.

看護業務の技術的評価について・その2：池上直己・ほか，10，604-623.

病人家族の生活構造・1 病人家族へのアプローチ：笹谷春美，10，637-641.

特集・臨床実習に何を学ぶか 看護における判断・行為・表現 〈第一部〉 学生の自主研究・事例を通して個別性のある看護を考える：国立別府病院付属看護学校第23回生，13，838-849.

看護論・看護婦論・看護体制論・医療論に関するもの

第9回中国地区看護研究学会特別講演より 看護実践を通して看護の本質を問う 第一部：外口玉子，1，4-12.

第9回中国地区看護研究学会特別講演より 看護実践を通して看護の本質を問う 第二部：外口玉子，2，70-77.

私の病棟日誌・9 隔たりの上の医療：日下隼人，2，126-128.

海外研究論文抄読 プライマリー・ケア その定義とケアへのアクセス：John S. Millis，鈴木和子訳，3，155-157.

第3回医療と教育に関する国際セミナー“地域医療におけるプライマリー・ケアの実践”に出席して：藤城喜美・ほか，3，158-159.

私の病棟日誌・10 初心に戻って：日下隼人，3，178-181.

私の発言 やぶにらみ看護観（感）：河合雅晴，4，193-197.

シンポジウム 看護の心——看護の本質を考える：山本富士江・ほか，4，198-218.

私の発言 これからの医療にこたえる教育体制：矢谷令子，5，265-271.

講演 医学と看護の接点：鈴木淳一，6，334-340.

私のなかの技とこころ：畠岡博子，8，461-466.

私の発言 初めての臨床看護婦 看護観にそった看護の実践を目指して：正村啓子，9，521-526.

私の発言 開業医の一看護婦として思うこと：坂本須恵子，10，585-589.

医療と個性：飯島 衛，10，591-598.

看護哲学：岸 信行，11，679-688.

私の発言 私の看護論：北野博一，13，793-798.

看護教育史に関するもの

慈恵における看護教育史 I. 東京慈恵会の創立について：赤羽武夫・ほか，1，58-64.

慈恵における看護教育史 II. 高木兼寛と教育方針：坪井良子・ほか，2，114-119.

慈恵における看護教育史 III. 看護婦教育所 (1)
その設立当初：坪井良子・ほか, 3, 182-189.
慈恵における看護教育史 III. 看護婦教育所 (2)
‘看護婦教育所規則’をもとに：芳賀佐和子, 4,
255-259.
慈恵における看護教育史 III. 看護婦教育所 (3)
看護婦教育所における生徒の生活状況：坪井良子・
ほか, 5, 317-323.
慈恵における看護教育史 IV. 施療病院：坪井良子・
ほか, 6, 385-391.
慈恵における看護教育史 V. 派出看護について：
坪井良子・ほか, 7, 447-453.

看護研究に関するもの

海外研究論文抄読 看護理論と看護研究の間の相互
作用：J. Q. Benoliel, 平井チヨキ・ほか訳, 2,
93-100.
研究のまとめ方と発表の仕方 その1：品川信良,
5, 285-294.
研究のまとめ方と発表の仕方 その2：品川信良,
6, 341-350.
看護婦教育課程における学生の研究指導の実際：鈴
木正子・ほか, 3, 132-137.
教育の方法としての看護研究：鈴木正子・ほか, 9,
532-535.

授業・技法などに関するもの

2年課程におけるゼミナールの展開：林みのへ・ほ
か, 5, 304-310.
呼吸器疾患および看護の講義におけるケース・スタ
ディの導入：岡安大仁・ほか, 6, 351-354.
授業展開の一考察：鎌田ミツ子, 8, 479-486.

臨床実習・実習指導・評価に関するもの

受け持ち患者を中心とした実習に対する学生の反応
自己評価と所感を中心に：丸橋佐和子・ほか, 1,
36-43.
1年生の看護能力に関する調査(1) 受け持ち患者
に対する理解と看護計画立案・実施能力について：
西山久美子・ほか, 1, 44-47.
専任教員の定員増の要求について 臨床実習指導の
充実をめざして：銭谷智恵美・ほか, 1, 48-51.
私の発言 臨床実習教育雑感：河野保子, 3, 129-
131.
1年生の看護能力に関する調査(2) 基礎臨床実習
における看護技術の経験について：河本令子・ほ
か, 3, 169-171.
1年生の看護能力に関する調査(3) 基礎臨床実習
を考える：河本令子・ほか, 4, 228-231.

講演 看護教育における臨床実習について：小野殖
子, 5, 272-284.
観察・看護計画の指導の一工夫 高等学校衛生看護
科の段階において：正村啓子, 5, 295-303.
私の発言 患者と学生に学ぶ：千葉紘子, 6, 329-
333.
精神科病棟における個別的指導の展開：津島 律・
ほか, 6, 355-365.
進学課程における実習評価の現況 形成的評価の活
用を試みて：内野幸子・ほか, 6, 366-375.
教師としてのわたしの経験 研修生としての臨床実
習指導から学び得たこと：藤田美津子, 7, 412-
416.
“科学的看護論”より講義・実習への展開(1)：大釋
浜子・ほか, 8, 467-478.
臨床実習におけるネフローゼ症候群患者の看護の到
達目標：関東地区国立大学医学部付属看護学校教
官連絡協議会合同研究, 8, 487-491.
実習指導の実際から：水溪雅子・ほか, 9, 536-542.
総合実習の展開と評価 学生のレポートおよび意識
調査に対する考察：楠 美智子, 10, 599-603.
行動目標による実習評価の試み：東京大学医学部付
属看護学校, 10, 631-635.
在る姿と在りたい姿の葛藤のなかで 厚生病院付属
高等看護学院の看護教育の実際：阿保順子, 11,
689-702.
看護の‘対人関係過程’に関する研究(1) 学生の
臨床実習体験と自己内観の経時的変容：福崎 哲,
11, 703-708.
特集・臨床実習に何を学ぶか 看護における判断・
行為・表現〈第一部〉シンポジウム・臨床実習
のなかに看護を学ぶ 学生と患者と指導者と：宝
珠山うめ・ほか, 13, 800-817.
特集・臨床実習に何を学ぶか 看護における判断・
行為・表現〈第一部〉討議・臨床実習に私が学
びえたもの：荒井博子・ほか, 13, 818-837.
特集・臨床実習に何を学ぶか 看護における判断・
行為・表現〈第一部〉学生の自主研究・事例を
通して個性のある看護を考える：国立別府病院
付属看護学校第23回生, 13, 838-849.
特集・臨床実習に何を学ぶか 看護における判断・
行為・表現〈第一部〉教育レポート・進学課程
における臨床実習指導の検討 1. 学生の看護過
程展開における2, 3の問題：中西睦子・ほか, 13,
850-860.
指導者・教員・教務に関するもの
私の発言 看護教員養成講習会を通して 看護教師
の姿勢を考える：天下静香, 1, 1-3.

専任教官の定員増の要求について 臨床実習指導の
充実をめざして：銭谷智恵美・ほか，1，48-51.
インタビュー 吉田所長に聞く 活動を始めた看護
研修研究センターを訪ねて：吉田時子，2，78-85.
看護教員の行っている看護研究の現状：石垣和子・
ほか，2，101-106.

神奈川県立看護教育大学校における看護教育学科の
1年の経過と今後の課題：大谷昌美・ほか，2，
107-113.

〈教師〉である私への問いかけ 学生との出会いから
学んだこと：山田信子，3，138-142.

教える者の条件（1）：大段智亮，3，160-168.

いま教育現場では・11 10年を振り返って看護教育
を思う：岩井陽子，3，172-175.

教育学の立場から 看護教育における教師像：鈴木
俊作，3，175-177.

教える者の条件（2）：大段智亮，4，247-253.

私の発言 患者と学生に学ぶ：千葉紘子，6，329-
333.

私の発言 看護教員養成講習を終えて 真に学び得
たものは何か：貞広満里枝，7，393-398.

学生意識などに関するもの

短大看護科学生入学時の‘つもり’：大河原千鶴子・
ほか，1，30-35.

看護の‘対人関係過程’に関する研究（1） 学生の
臨床実習体験と自己内観の経時的変容：福岡 哲，
11，703-708.

外国の看護教育その他に関するもの

海外研究論文抄読 技術看護教育課程卒業生と専門
看護教育課程卒業生には業務上の相違があるか：
J. E. Gray ほか，松本光子訳，7，426-435.

私の発言 アメリカ合衆国の一病院で研修して：田
口和代，8，457-460.

海外研究論文抄読 学士課程における初年度の看護
課目：J. A. Piemme ほか，竹田美恵子訳，10，624-
630.

卒後教育・現任教育に関するもの

専門看護をめざす卒後教育のスタート 神奈川県立
看護教育大学校における専門看護教育 V. 母性
看護課程：大谷昌美・ほか，3，143-149.

女性論・その他

ルポルタージュ 女と靴下・1 カラス部隊いまな
おがんばる：鈴木俊作，5，311-315.

ルポルタージュ 女と靴下・2 天に梯子をかけて：
鈴木俊作，6，377-384.

1978年度看護関係新設校一覧：6，392.

歩いていく日々 旅の仲間・1 夏・冬：菅田恵子，
7，436-440.

ルポルタージュ 女と靴下・3 ある教え子からの
手紙：鈴木俊作，7，441-446.

歩いていく日々 旅の仲間・2 邑・村：菅田恵子，
8，508-512.

ルポルタージュ 女と靴下・4 花のいのちは短く
て 華やかなスチュワーデスのある断面：鈴木俊
作，8，513-518.

歩いていく日々 旅の仲間・3 考いる・断片：菅
田恵子，9，571-575.

ルポルタージュ 女と靴下・5 新宿村婦女庭訓
女性アナウンサー奮闘記：鈴木俊作，9，576-581.

歩いていく日々 辿る：菅田恵子，10，642-646.

ルポルタージュ 女と靴下・6 さびしい子供たち：
鈴木俊作，10，647-654.

私の発言 病気の食事から病人の食事へ：竹内恭子，
11，657-660.

ルポルタージュ 女と靴下・7 女性と裁判：鈴木
俊作，11，709-715.

歩いていく日々 旅の仲間・4 同世代・妹：菅田
恵子，11，716-720.

文献に関するもの

特集・看護教育に関する雑誌文献集録 1970-1974：
森 日出男，12，727-792.

Book Review

社会の求める医療のあり方を問う 高橋政祺編“医
療学入門”：坪井良子，3，191-192.

なぜ事例検討なのか 氏固有の方法と表現の見事な
結果 外口玉子編著“看護事例検討集 I 問われ，
問いつづける看護”：高橋幸子，4，260-262.

自己認知を深め，感性を高めるために L. J. ディ
ビッツ著・樋口康子訳“看護場面の心理プロセス
事例学習法による展開”：坪井良子，4，263-264.

芽づる式の闘いを たぐりあって人と出会おう 高
杉晋吾著“障害者解放と労働運動”：吉清一江，7，
454-456.

せきとめられた生命が脈うつ 小川鼎三・中川準之
助編“詩集 病者・花——細川宏遺稿集”：藤田郁
子，8，519-520.

癌であることを知っている著者を支えたもの 伊藤
勝司・治子著“限りなき愛に生きて——ガンと闘
う1050日”：井山寿美子，9，583-584.

孤独な病は万人に浸透する世界となる…… 森田進
著“文学の中の病気”：羽山由美子，10，655-656.